

県政ビジョン策定に係る主な意見
【第2回県政ビジョン策定有識者委員会（鹿児島地区）】

No. 1

関連分野	意見内容等
総括	<p>【岩崎委員（県商工会議所連合会会長）】 日本や地球が抱えている課題を解決するためには、原点に「自助心」が必要である。一人ひとりが「自助心」を持ち、地域としても全体で「自助」の地域となることが重要となる。</p> <p>【岩崎委員（県商工会議所連合会会長）】 日本一の産業だけでなく、みんな頑張っているのです、県のビジョンとして、財政が厳しい中でもみんなで工夫して底上げをしていくという雰囲気を作っていただきたい。</p> <p>【岩下委員（県保育連合会会長）】 将来ビジョンで取り組んだ10年間で踏まえて、更にステップアップしていくことが大事である。この10年間の取組の大きな柱を盛り込めればよい。</p> <p>【竹内委員（日本青年会議所鹿児島ブロック協議会会長）】 広域連携に関して、県域を越えた連携も必要であるが、まずは県内の各市町村、地域における広域連携が重要である。</p> <p>【前田委員（鹿児島大学学長）】 ポテンシャルにもある「南北600kmに及ぶ豊かな自然」のキーワードとして「黒潮の恵」という言葉を盛り込んでほしい。県民にもしっかり認識してもらいたい。</p> <p>【飯山氏（県銀行協会常務理事）】 ビジョンにおいて、ここ10年間で取り組む施策に強弱をつけてもよいのではないか。また、目指す姿に数値目標を示せば、進捗管理もしやすいと思われる。</p>
誰もが活躍できる社会	<p>【久永委員（鹿児島女子短期大学名誉教授）】 長寿生きがいは、基本的な考え方として、本人が創造し創りあげていくものである。内容を整理する上で詰めてほしい。</p> <p>【田畑委員（県女性団体連絡協議会代表）】 がんなど疾病を抱えながら働いていけるような、疾病のある方の活躍といった視点も盛り込めればよい。</p>

関連分野	意見内容等
人材育成, 文化・スポーツの振興	<p>【寺菌委員（県文化芸術振興審議会副会長）】 教育・文化の観点から、「生きる力」、「伝えていく力」、「感じる力」を育成することが大事である。本県は有名な美術家や音楽家を多く輩出しており、これらの歴史や文化を後世に伝えていくことが重要。</p> <p>【中原委員（県観光誘致促進協議会会長）】 鶴丸城本丸御殿の復元、西田橋御門の西田橋への移転、国道10号線の一部地下道化など、鶴丸城跡を中心とする歴史・文化ゾーンの一体的整備を進めてほしい。</p>
健康長寿社会, 医療確保	<p>【田畑委員（県女性団体連絡協議会代表）】 人口減少・少子高齢化が進む中で、全世代型の地域包括ケアが求められており、しっかりと盛り込んでほしい。また、終末期医療も大きな問題で、地域包括ケアの中で書き込んでほしい。</p> <p>【田畑委員（県女性団体連絡協議会代表）】 良質な医療の確保も必要であるが、本県は全国でも人口に対するベッド数が多いなど市町村財政を圧迫している状況もあり、適切な医療という視点も重要である。</p>
自然との共生, 地球環境保全	<p>【前田委員（鹿児島大学学長）】 豊かな環境や生物の多様性の保全につながる森林の保全について、盛り込む必要がある。</p> <p>【松村委員（鹿児島大学名誉教授）】 再生可能エネルギーを電力として活用するだけでなく、動力や熱エネルギーといった形で利用範囲を広げていく取組も必要ではないか。</p> <p>【松村委員（鹿児島大学名誉教授）】 再生可能エネルギーを貯蔵できる仕組みの構築などを検討できれば、新たな設備や雇用の創出などにもつながる。</p>
安心・安全な県民生活	<p>【餅原委員（県青少年保護育成審議会委員）】 防災・減災や防犯対策とあわせて、被災者や被害者の支援に関する視点を入れるべきである。被害者等に対して優しい県であってほしい。</p>

関連分野	意見内容等
安心・安全な 県民生活	<p>【下川委員（鹿児島大学地域防災教育研究センター特任教授）】 ソフト面での防災対策として、住民や事業所における防災の取組が重要であり、地域の防災組織の活動を活発化させるためのリーダー育成、住民のつながりなどが大事である。</p>
県土の創造	<p>【山本委員（県建設業青年部会会長）】 観光・農林水産業・暮らしなど鹿児島のポテンシャルを秘めた分野、産業間の相乗効果を生み出すインフラ整備について検討してほしい。</p>
人・モノ・情報の 交流	<p>【門田委員（鹿児島市国際交流団体理事）】 海外の方が鹿児島に来たときに、自由に自分の生きたいところにいける、自分の欲しい情報が取れるような交通・情報通信インフラの整備が大事である。</p> <p>【門田委員（鹿児島市国際交流団体理事）】 「ウェルネス素材」は鹿児島を世界に発信していく上で、活用すべきポテンシャルであり、しっかりと情報を整理して発信していくことが大事である。</p> <p>【宮内委員（県漁業協同組合連合会代表理事専務）】 「ウェルネス素材」が盛り込んであるが、「食」は鹿児島の武器であり、輸出・インバウンド様々な面で上手く使ってほしい。</p>
産業の創出・ 振興	<p>【前田委員（鹿児島大学学長）】 本県は多様な伝統的工芸品があるが後継者が少ない。伝統工芸を継承する人材をしっかりと育成していく点に力を入れてほしい。</p> <p>【堂込氏（県林材協会専務理事）】 健全な森林を持続的に管理・経営していくことが求められており、対策の一層の充実が必要である。</p>
働き方の創出	<p>【大野委員（県商工会青年部連合会会長）】 高齢化に伴い地域の経営者等も高齢化している中、若い経営者などが業績を上げている状況がある。技術や技能の引継ニーズも高まっており、事業継承や事業引継の取組・支援が重要。</p> <p>【山本委員（県建設業青年部会会長）】 建設業界も若者の確保が課題となっており、将来的な災害への対応等が懸念されている。若者を鹿児島に残すための取組を進めていくことが重要である。</p>